

大豆づくり情報

第 2 号

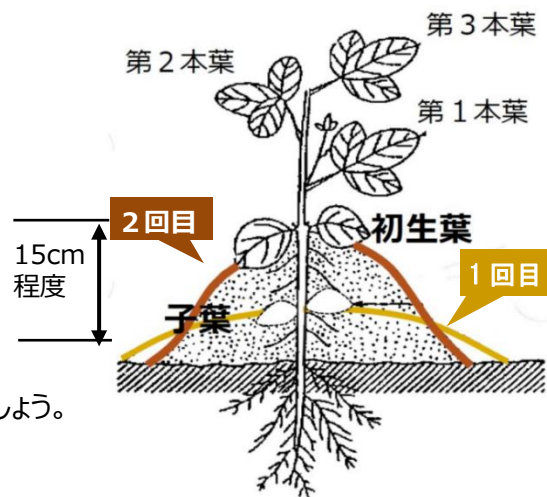
令和 8 年 7 月 1 日
村山 総合 支 庁
農 業 技 術 普 及 課
TEL : 023-621-8295

適期の中耕・培土で生育を促進しよう！

今年の大豆の生育は概ね良好です。また気温が高く雑草の生育は旺盛です。遅れずに中耕・培土を行い、雑草防除と生育量確保に努めましょう。

ポイント① 中耕・培土

- 中耕・培土には、土壌の排水性・通気性確保、倒伏防止、大豆の根域拡大、雑草の抑制などの効果があります。
- **1 回目**は、**本葉 3 葉期**に**子葉節**まで行います。
- **2 回目**は、**本葉 6～7 葉期**に**初生葉節**まで行います。
- 培土を高くすぎると、収穫時の汚損粒の発生につながるため、高さは **15cm 程度**までとしましょう。
- 根や莖葉部の損傷による開花への影響を考慮し、遅くとも**開花 1 週間前 (7 月下旬)** までには終わるようにしましょう。



ポイント② 追肥

- **6～7 葉期**の培土時に追肥を行うと、着莢数及び百粒重の増加が見込め、収量向上の効果があります。
- 追肥量の目安を参考に、地力の高低に応じて施用量を調整しましょう。

<追肥量の目安>

被覆尿素 (LPコート70)
窒素成分で 7.5kg/10a

※硫安は過繁茂になりやすく、根粒活性も低下するため NG!

ポイント③ 雑草防除

- 除草剤を選ぶ際は、大豆の葉齢、雑草の種類(イネ科、広葉)、雑草の葉齢・草丈などの確認が必要です。時期を逃さず、適期散布を行いましょう。
- **帰化アサガオ類**の発生により減収する圃場が見られます。**早期対策で拡大させないことが重要**です。

【帰化アサガオ類防除のポイント】

- ① 大豆を健全に生育させ、雑草との競合優位性を高める。
- ② 大豆が繁茂し条間を覆う頃まで、概ね 2 週間ごとに防除(除草剤、中耕培土)を実施
- ③ つるになる前に抜き取りを行う。
- ④ 畦畔や農道など、圃場外からの侵入を防止する。
- ⑤ 作業機械に付着した種子による他圃場への拡散に注意する。

農作業事故と熱中症に要注意！ 機械作業を中断する時は必ずエンジンを止めましょう！
こまめな**休憩**と**水分補給**、ゆとりを持った無理のない作業を！